

## 課題②



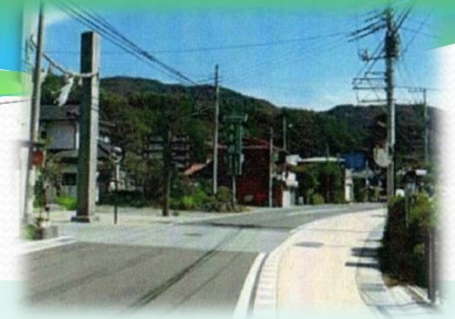
河口浅間まちづくりの会

笠貫せい子

中村 美智子

桂 明美

## 「河口浅間まちづくりの会」



- 国道137号河口Ⅱ期バイパスの建設に伴い旧国道が町道に移管 → 平成21年7月 官民協働の道路整備となるよう、提案内容を検討する住民側の中心組織として「河口地区のまち並みを考える会」設立
- 富士河口湖町の都市整備課とコンサルタントの指導を仰ぎながら活動  
↓  
行政主導でスタートしたが、会が自立して活動できるようコンサルタントにサポートして頂きながら活動を継続することで、自主的なまちづくりの活動団体に成長していった
- 平成24年 会の組織を3つの部会（執行部会・アドバイザー部会・サポートメンバー部会）に再編成し、会長も交代「河口浅間まちづくりの会」に改名
- 財産区・緑の会・育成会・神社関係者などとも連携しながら活動を行っている

# 「河口浅間まちづくりの会」コンセプト 河口浅間神社を中心としたまちづくり

## 目標

- 地域のにぎわいを創出する
- 地域の景観を創造・改善する
- 地域の歴史、文化を再興する
- 地域にかかわる人づくりを行う



# 「河口浅間まちづくりの会」の主な活動

## ●公共事業整備についての提案

☆国道137号町道移管の改修・神社参道・寺川・多目的広場など

## ●住民参加の企画と実施

☆世界遺産となった神社で50年前に行われた提灯行列を住民参加で復活

☆郷土河口の映写会とアントニオ古賀ギター演奏会

☆地域の河川(寺川)や墓地・湖畔の清掃実施

☆地域の歴史発見勉強会

☆例大祭への参加と盛り上げ企画

## ●旧消防詰所の修景整備

(浅間まちづくりの会拠点)

## ●河口散策マップ作成

## ●毎月1回以上の定例会の開催



## 「河口浅間まちづくりの会」の取組効果

- 活動当初は、行政主導であったが、活動を継続することで「自主的なまちづくりの活動団体に成長した。
- 自立したまちづくり組織として、町や観光協会などから依頼を受けることが増えた。また、活動に対する地域の理解も得られるようになり、会に参加したいという新たな人材も出てきた。
- 修景整備された旧国道沿いは、県の景観形成モデル事業を活用した建物の修景整備が徐々に進められてきており、周辺にまちづくり効果が波及してきている。



## 「河口浅間まちづくりの会」の今後の活動・目標

- 湖畔沿いの観光客を村中に誘導できるように、案内等のサイン板の設置
- 神社前の多目的広場を利用したイベント開催
- 母の白滝のライブカメラの設置・展望台の整備
- 歴史的財産を利用し、村中にストーリー性をもたせたフットパスの実施
- 景観条例・景観樹木の制定



地域住民の理解と協力を得ながら、行政の力も借り、楽しみながら次世代に繋がる景観まちづくりを目指してゆきたい☆



地域景観リーダー育成研修で学んだ知識を、まちづくりの会のメンバーと共有し、今後の取組に活かしてゆきたい☆